

第24回 基本計画部会 議事概要

1 日 時 平成22年7月16日(金) 15:30~16:15

2 場 所 中央合同庁舎第4号館12階 共用第1208特別会議室

3 出席者

【委員】

樋口部会長、深尾部会長代理、阿藤委員、安部委員、井伊委員、宇賀委員、首藤委員、椿委員、津谷委員、廣松委員、山本委員

【統計委員会運営規則第3条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長等》

内閣府経済社会総合研究所長、内閣府経済社会総合研究所次長、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、文部科学省生涯学習政策局調査企画課長、厚生労働省大臣官房統計情報部長、農林水産省大臣官房統計部統計企画課長補佐、経済産業省経済産業政策局調査統計部長、国土交通省総合政策局情報安全・調査課長、日本銀行調査統計局審議役、東京都総務局統計部長

【事務局等】

乾内閣府大臣官房統計委員会担当室長、北田内閣府大臣官房統計委員会担当室参事官、池川総務省政策統括官(統計基準担当)、會田総務省政策統括官付統計企画管理官

4 議 事 (1)基本計画部会各ワーキンググループの審議状況について
(2)その他

5 議事概要

(1)基本計画部会各ワーキンググループの審議状況について

第1ワーキンググループの審議状況について、資料1に基づき、第1ワーキンググループの深尾座長からの報告があった。

第2ワーキンググループの審議状況について、資料2に基づき、第2ワーキンググループの阿藤座長からの報告があった。

第3ワーキンググループの審議状況について、資料3に基づき、第3ワーキンググループの廣松座長からの報告があった。

これらの説明の後、意見交換が行われた。各委員の主な意見等は以下のとおり。

- ・第2ワーキンググループに関して、世帯・家計に対する調査の結果と、企業・事業所に対する調査の結果の違いについて総務省と厚生労働省が共同で検討を行うような議論はあったか。
- ・行政記録の活用については、第1、第2ワーキンググループで個別具体の事例の議論が行われるが、政府全体として更に推し進める点について来年度以降考えるべきであろう。
- ・研究者は統計の有用性を理解しており、研究者に訴えることが統計へのサポートを得る有効な方法であろう。二次的利用の使いやすさの向上はその意味でも重要である。
- ・統計作成者と研究者が相互理解を深めるシステムが必要。また、よりオープンな情報交換が行わ

れば、学界の関心も高まるのではないか。

- ・ワーキンググループの運営や議論の進め方については、今年を前例に、判り易いものとして欲しい。

(2) その他

次回基本計画部会は、8月20日(金)の第37回統計委員会終了後に開催される予定。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>